

広報常任委員会先進地行政視察報告書

1 観察の目的

道内先進地における議会広報の活動について視察調査し、今後の議会活動に資するため。

2 観察日程

(1) 期 間 令和7年8月20日（水）1日間

(2) 観察先及び調査事項

日 時	観察先	調 査 事 項
8月20日(水) 9:00 ~11:00	鷹栖町	(1) 議会だより (2) 議会動画について

3 参加委員等

(1) 広報常任委員会 金子委員長、堀委員、金橋委員

(2) 随行職員（議会事務局） 亀井議会事務局長、神議事係長

4 観察調査結果

次のとおり。なお、観察先から提供された資料等については、別途保管とする。

鷹栖町

視察対応者	鷹栖町議会	議長	大 石 隆
"	広報広聴常任委員会	委員長	坂 根 玲 子
"	広報広聴常任委員会	委員	片 山 兵 衛
"	議会事務局	事務局長	田 尻 裕 之

1 鷹栖町の概要

人口 6,567人 (R 2国調) 面積 139.42 km²

トマトジュース「オオカミの桃」で知られる鷹栖町は、北海道のほぼ中央である上川管内の中心部に位置し、周りを小高い山に囲まれ、全体的に盆地状をなしており、中心部は石狩川に注ぐオサラッペ川が北から南へ貫流している。

北は鬼斗牛山脈をもって和寒町に隣接し、東・南・西の三方は北海道第二の都市である旭川市に隣接しており、町中心部からJR旭川駅まで車で約25分という利便性の高さと、それでいて豊かな自然に囲まれた住みよい環境にある。

また、品質・収穫量ともに道内屈指の稻作、付加価値の高いきゅうりの生産など、もともと良品質な農産物の供給地帯であり、さらに現在は、積極的な企業誘致により、農・商・工が一体となった地域複合産業の形成を目指している。



(鷹栖町議会大石議長の挨拶)

2 議会だよりについて

鷹栖町議会では、平成27年、広報広聴活動を重視していくため、特別委員会から常任委員会となったのを契機に、全国町村議会広報研修会や、全国町村議会広報クリニックに参加するようになった。

それまでは、事務局主導で作成していたが、平成30年9月定例会号から全ページの文章、レイアウトやデータ作成まで、全てを議員が作成する体制に移行した。

「情報発信は議員自らの手で」を念頭に、この経験が議会広報を作成する土台となつた。

令和元年には、全員が広報広聴常任委員になり、議会広報編集方針・活動方針を

作成し、毎年、総会で見直しの継続を行っている。

このような取組を始めたきっかけは、令和元年4月、統一地方選挙で3期連続で無投票となつたことだった。

改選後の全員協議会では、この状況に危機感を持ち、無投票の要因を「住民の議会・議員への無関心」にあると分析し、さらに、協議会を進め「議会・議員に興味を持つ」、「議会・議員への理解を深める」、「議会に参加する」を目標に任期中の活動方針とした。

令和2年3月、一般質問の「通信簿」を試行開始、同年9月から本格導入した。

内容は一般質問の要旨、質問者のプロフィールを掲載した資料に「通信簿」欄を掲載。通信簿の5項目として、①テーマの設定、②聞き取りやすさ、③説得力、④追求力、⑤共感度を傍聴者に評価してもらい、その結果を議会広報に掲載している。

同時に広聴活動も担当者を決め、広報発行と同時に町民と語ろう会を実施し、内容を議会広報に掲載している。

【広報誌コンクール受賞歴】

令和3年 第41回北海道町村議会広報コンクール 特選

第36回全国町村議会広報コンクール 7位

令和6年 第44回北海道町村議会広報コンクール 特選

3 定例会案内チラシについて

平成20年から事務局が作成していた定例会の案内チラシを、令和元年9月から議員による作成に変更した。

チラシの内容は、9月は決算、12月は日曜議会の一般質問などと、それぞれの議会で注目してもらいたいことを意識し、テーマに興味を持ってもらうような「インパクト重視」と「争点」は何かを伝えるよう工夫している。



(令和7年第1回定例会のチラシ)

4 傍聴ガイドブックについて

令和2年12月には、傍聴者に議会を理解してもらうため、議場内での過ごし方や議事進行のルールなどのほか、一般質問の見どころを掲載した「議会傍聴ガイドブック」を発行し、議場で配布始めた。

発行までの流れについては、編集作業は発行号ごとに担当者を決定し議長を除く議員全員で編集作業を行う。

委員会は作成までに5回開催。

(2回は終日開催)

傍聴ガイドブックを見ながら、一般質問の「通信簿」をつけてもらっている。



5 議会動画について

情報発信の場として、議会の紹介動画、一般質問の内容を質問議員が語る動画、所管事務調査の様子を動画でレポートするなど、議員で作成し配信している。

議会中の動画配信は、役場庁舎1階ロビー、健康福祉課ロビー、町営温泉施設の3箇所で配信中。

XやYouTubeでは、広報広聴常任委員会の活動報告やリアルタイムでの議会の進行状況を配信している。

6 町民の反応について

広報誌やチラシを見て興味を持ち、語ろう会や意見交換会などに参加し、気軽に傍聴に行きやすくなったという意見が多い。

町民自らが主体的にまちづくりに関わることで、令和5年4月の統一地方選挙では、定数12名のところ、14名が立候補となり16年ぶりの投票選挙となった。

7 視察の所見

鷹栖町議会は、令和元年の統一地方選挙で3期連続の無投票に危機感を持ち、その原因は議会・議員への無関心から「興味を持つ、理解を深める、参加する」を目標に掲げ、4年間の活動の中で議員自らが情報発信したことで、議会への関心が高まったと感じ、町民の視線を感じることで、意識も変わり、それがさらなる取組に

つながる好循環も生まれたのが、「傍聴者の増加」と「無投票の回避」につながり、当初の目標を達成されたことは、高く評価したい。

これらは、議員自らが知恵を絞り、汗をかいて取り組んできた結果であるが、今後も、議員のなり手不足や女性議員、若い議員が少ないなどが課題であり、引き続き議会に関心を持ってもらう取組をさらに進めていきたいと述べられたが、厚岸町においても、同様で、今後の広報活動等で議会に関心を持つてもらう取組を進めていきたい。



(鷹栖町議会議場)